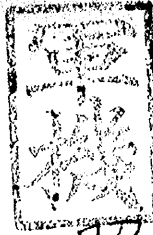


Handwritten mark

949T

137

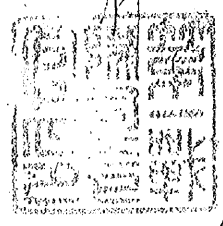


海軍功績調査部長 敬
第一戰隊機密第一六號

昭和十九年十一月十五日

十一月十五日送付

Handwritten mark



第一戰隊戰鬥詳報

第二號

自昭和十九年十月十八日
至昭和十九年十月二十八日 捷一號作戰

部員定作書

第一戰隊司令部



- 一、作戰經過概要
- 二、經過及令達報告等
- 三、戰果及被害
- 四、戰訓
- 五、行動圖及合戰圖

(目次)

138

(目次終)

自昭和十九年十月十八日
至昭和十九年十月二十八日
捷一號作戰戰鬥詳報
一、作戰經過、概要

十月十七日

(一) 〇八五五 聯合艦隊電令作第三五一號 (捷一號作戰警

戒) 受領

139 (二) 〇〇〇〇

聯合艦隊電令作第三五三號 (第一遊撃部隊ハ
速ニ出撃ブルネイン進出スベシ) 受領

十月十八日

(一) 〇一〇〇 第一遊撃部隊「リンガ」出撃

(二) 一八〇八 聯合艦隊電令作第三六〇號 (捷一號作戰發

動) 受領

十月二十日

(2)

C28T

(一) 一。二。 第一遊撃部隊「ブルネイ」着

(二) 聯合艦隊電令作第三六七號ニ依リ第一遊撃部隊ハ聯合艦隊司令長官直率トナル

ATAGO 十月二十一日
愛宕ニ各級指揮官參集作戰打合セ實施

十月二十二日

○八。○。 第一、第二部隊「ブルネイ」出發

十月二十三日

(一) 六三四

ATAGO 愛宕ニ敵潜魚雷四本命中航行不能

TAKAO 高雄ニ敵潜魚雷二本命中一時航行不能

(二) 六五三
愛宕沈没司令長官岸波ニ乗艦

(三) 六五六
摩耶ニ敵潜魚雷四本命中車轉沈

(四) 七。○。 大和艦隊旗艦通信ヲ代行ス

十月二十四日

- (五) 一五〇五
- (四) 一四三〇
- (三) 一四一五

- (一) 一〇四〇
- (二) 一一〇〇

- (五) 〇八三〇
- (六) 朝霜長波
- (七) 一六二七

本職一時第一遊撃部隊、指揮ヲ執ル

ヲシテ高雄艦長ノ命ヲ承ケ之ヲ護衛ニ任ゼシム

司令長官大和ニ移乗大和第一艦隊旗艦トシ

リ第二艦隊司令長官第一遊撃部隊ヲ指揮ヲ

執ル

第一次對空戰闘

第二次對空戰闘

妙高魚雷一命中第五戰隊旗艦。羽黒ニ変更

妙高ハコロンノ經由アルネイニ向テ護衛艦長波

第三次對空戰闘

第四次對空戰闘

第五次對空戰闘

(5)

十月二十五日

(一) 〇一五五

(二) 自〇六二五
至一〇〇〇

(三) 自〇六四五
至一〇〇〇

(六) 一五一〇

(七) 一八三八
(八) 一九三七

武藏被害ノ爲戦闘力發揮ニ支障アリ清霜
 警戒下ニ分離要スルコトニ經由馬公ニ向フ航行不
 能トナルニ及ビ利根島風清霜濱風警戒ニ當ル
 利根島風武藏護衛ノ任務ヲ解カレ原隊復歸
 武藏沈没清霜濱風武藏乗員ヲ救助シマニ
 ラニ向フ

「ガンベルナルジ」海峡通過 非島東方海面ニ進出
 レイテ湾ニ向フ

第一次對空戦闘

空母六及空母三ヲ基幹トスル敵機動部隊ヲ
 捕捉之ヲ撃破ス

第一遊撃部隊 戦果

撃沈

空母四(内大型正規空母二)、甲巡一

乙巡二、驅逐艦四

撃破

空母二、巡洋艦又ハ大型驅逐艦二乃至三

被害

主トシテ敵機ノ攻撃ニ依リ鈴谷筑摩島海

航行不能熊野魚雷一命中

(四) 第三部隊及第二遊撃部隊ハ〇三三〇以後レイテ灣ニ突入詳

細不明ナルモ第三部隊ハ晴雨ノ外全滅第二遊撃部隊ハ離脱セ

(五) 第一遊撃部隊ハ對機動部隊戦闘後レイテ灣方面ニ向ヒタル

モ一〇五四反轉北方ノ敵機動部隊攻撃ニ向フ

(六) 一〇一三 第二次對空戦闘

(4)

十月二十六日

峽通過「ゴロン」ニ向フ

敵機動部隊ヲ捕捉スルニ至ラス
ニ〇三〇「サンバルナルジ」海

(七) 一〇〇 第三次對空戰闘

(八) 一一〇 第四次對空戰闘

(九) 一三〇 第五次對空戰闘

(十) 一三五 第六次對空戰闘

(十一) 一五〇 第七次對空戰闘

(十二) 一六〇 第八次對空戰闘

(十三) 一七一 第九次對空戰闘

第一次對空戰闘

能代魚雷一本命中
航行不能

第二次對空戰闘
能代沈没

③第一遊撃部隊ハ「コロ」回航ヲ取り止メ「リナパカン」水道ヲ通
 過新南群島ヲ経テ「ブルネイ」ニ向フ
 十月二十八日

ニ。〇。〇 「ブルネイ」入泊

(5)

mit 1897

Index from
Book 7

三		148	三	三	三	三	三	三	三	三
口		口								
Ko1B		75								
21 外 前 後 帳	Ko1B 2YB	受 込 容								
電	無	號	候							
2YB 本 職 控 下 復 取 后 領 ハ 作 戦 ハ K1B 建 込 端 作 戦 要 領 ニ	Ko1B 電 令 作 録 ハ カ カ	ヨリ 開 始	ヨリ 開 始	七 度 ニ 右 一 番 回 頭	一 三 度 ニ 右 一 番 回 頭	七 三 度 ニ 右 一 番 回 頭	三 三 度 ニ 右 一 番 回 頭	三 三 度 ニ 右 一 番 回 頭	三 三 度 ニ 右 一 番 回 頭	セ ラ ル (計 三 隻)

20301

依ル外左ノ通

215 八道守海峽東方ニ進出KOB本
 隊ニ策應敵機動兵力ヲ派
 島東方海面ヨリ北方ニ牽制
 誘出シKOB突入作戰必成期
 スト共ニ殘敵掃滅ニ任ス
 一 行動決定キテ五八ニ番電通
 一日ヨリ翌日ヨリ島東方海面
 二 進出航路空襲ヲ開始シKOB突
 入日ヲX日トス
 三 215ハ翌日ヨリ守海峽東方ニ進
 出敵ヲ牽制シツ(偽電實施)
 KOB本隊ノ北方ヨリスル側航
 空攻撃ノ必成ヲ期スルト共ニ
 右KOB本隊前イットル如ク行動
 ス
 三 好機ヲ捕捉セシメKOB本隊ヨリ
 ヲ牽ケ敵部隊トノ決戦ヲ期ス

○三五 第一戰速
 ○〇四 三度ニ要針
 ○〇五 第一戰速
 ○〇五 之ヲ運動西側
 ○七三 一斉回頭之
 字運動始々
 水城

三	三
口 11B	口 CPI
艦隊	各艦隊 外
號	無
<p>三 巡洋艦以下出撃 二 大和 105 (高瀬野谷) 一 及鳥海 武蔵 横付 摩耶 八 西隊 小隊 二 俣 上 雄 鳳丸 横付 取上 妙高 重 二 俣 三 八 計 二 横 付 利 根 八 龍 野 八 八 銀 學 二 俣 上 武 蔵 二 横 付 滿 潮 八 金 剛</p>	<p>四 敵情ニ依リ2Bヲテ呂宋東方海面ニ出待待候セリ 五 機宜4B機4Bヲ2Bニ編入敵水上兵力トテ決戦ニ備フ 師電令作第183號 (10頁々々出)</p>
	<p>〇八三ニ隨當航行始ム 〇九二八各隊之空軍運動ヲ止メテ定銷地ニ向フ</p>

10m

	三	四	
口 船	官 船長	官 司令官	
能代 (船)	官 司令官	官 司令官	
信	無	無	
<p>日 船同ヲ見告球ヲ増 (一) 平行搜索側程ナシ (二) 船同基線ヲ針路七ニ度 (三) 前路警戒ニ配備 (四) 船同ノ対特警戒ヲ右 準備出來次第突進雄鳳丸 復取ス</p>	<p>一。將旗ヲ第一作戦司令所ニ 復取ス</p>	<p>第二。艦隊部隊又。馬公入港明 二日。八。補給終了出雲準備 完成予定</p>	<p>野分ハ倭名ニ横付八絃丸 武藏ニ雄鳳丸大和ニ横付 三。戦艦ノ補給ハ后令ス 四。八絃丸雄鳳丸二日一七。 入港ノ予定</p>
	一 三 船 着		

豊		西
P 11B		P 108
11B 矢 能 別 代		大 (和) 和 愛 岩 川 川
號 信	號 信	號
<p>電波ヲヒニタヒトス</p> <p>鳳丸形同射敵艦ニ成候イ備</p> <p>此信令特牙西號</p> <p>此信令特牙西號ニ依ル雄</p>	<p>續行ス</p> <p>三北哨戒隊指揮官ハ北哨戒</p> <p>三電波明ニ成遠望ニ成配備ノ交</p> <p>代要領ハ信令ニ三號ヲ其ニ</p> <p>代投團待校士第ニ分待</p> <p>校トス</p> <p>北哨戒隊ヲ破川山雲煙風於</p> <p>雲嶺ニ日當直ニ。現場ニ交</p>	<p>巡艦遊艦ニ對シ遠望ヲ通報セヨ</p> <p>而シテ投艦出担任能代矢矧各一機</p> <p>此信令第六三號</p> <p>此信令第六三號</p>

	<p style="text-align: right;">四</p>
<p style="text-align: center;">P 75</p>	<p style="text-align: center;">P 75</p>
	<p style="text-align: center;">各隊</p>
<p style="text-align: center;">號</p>	<p style="text-align: center;">號</p>
<p>二、艦隊ハセ。水偵ヲ發進右ノ海面ヲ索敵スベシ</p> <p>内</p> <p>一、各艦左ニ依リ電探裝備檢ヲ依リ遣ル信令ヲ四ニ號ニ依リ敵情ヲ索敵攻害スベシ</p> <p>四、艦隊ヲ檢ニ。現場着以下</p> <p>二、時向毎ニ艦形番號順序</p> <p>四、索敵範圍ハヲウ用ノ六五度</p> <p>三、涅ヲ中ハトスル六ノ涅内</p>	<p>信令第一回號</p> <p>一、四七度敵潛ノ位置ハヲウ角ニ</p> <p>七五度三涅雄鳳丸北國ノ七日</p> <p>四、偵附返信區</p> <p>二、乃リ本官ニ夜間電探裝備檢ヲ以テ右敵潛ヲ掃蕩攻害スベシ</p>

聯合艦隊電令作第三六三號

一 敵ハ一部ヲ以テ印度洋方面ニ我ヲ牽制シツク其

ノ主力ヲ以テ中菲上陸ヲ敢行シツクアリ

ニ 聯合艦隊ハ陸軍ト協同全カヲ拏ゲテ中菲方面

ニ來攻スル敵ヲ殲滅セントス

三 第一遊撃部隊ハ二十五日(乙日)黎明時ヲシロハン

方面ニ突入先ヅ所在ニ取海上兵カヲ撃滅次テ敵

攻勢部隊ヲ殲滅スベシ

四 機動部隊本隊ハ第一遊撃部隊ノ突入ニ策應シ

ソシテ東方海面ニ機宜行動敵ヲ北方ニ牽制スル

ト共ニ好機敵ヲ攻撃撃滅スベシ

五 南西方面艦隊司令長官ハ菲島ニ集ル中スル全

海軍航空部隊ヲ指揮第一遊撃部隊突入ニ策

應敵空母並ニ攻略部隊ヲ併セ撃滅スルト共ニ陸
 軍ト協同速ニ海上機動反撃作戰ヲ敢行敵上
 陸部隊ヲ殲滅スルベシ
 六 第六基地航空部隊ハ主力ヲ以テ二十四日ヨリ日ヲ
 期シ敵機動部隊ニ對シ總攻撃ヲ敢行シ得ル
 如ク菲島ニ轉進南西方面艦隊司令長官ノ指揮
 下ニ入ルベシ
 七 先遣部隊ハ既令作戰ヲ續行スベシ
 八 尔后ノ捷號作戰部隊ハ特令スルモノノ外現任
 務ヲ續行スベシ

(結
 了)

5681

五五	五五	五五	八五
P EB	P IYB	P IYB	P IYB
EB	IYB	IYB	IYB
無	無	信	信
<p>伊電令作第一號 甲踏木部隊ハ左ノ配備ニ 隱密急行セリ第三旅團配 備方形直線ヨキウノ教 南線方向ニ三度度角及運 伊54伊55伊56伊57順</p>	<p>伊電令第八四號 別主日毛。明後夜。明後夜 撥隊へ。但。部長門大絶十根 BN流置隊。頂テハ。ト。ト。ト 我隊指揮官。各哨隊。乘員 ヲ收容セタル。后。飯。投。セ。ヨ。</p>	<p>明後夜。明日午後。飯。投。セ。ヨ。 付。明。夜。交。代。ヲ。取。止。リ。</p>	<p>伊電令作第三七號 IYBヲ本職直率トス</p>

4987

pink

長官	長官	長官	長官	長官	長官
大和	愛宕	長官	長官	長官	長官
無線	無線	無線	無線	無線	無線
無線	無線	無線	無線	無線	無線
無線	無線	無線	無線	無線	無線

無線
無線
無線
無線
無線

無線
無線
無線
無線
無線

無線
無線
無線
無線
無線

無線
無線
無線
無線
無線

無線
無線
無線
無線
無線

無線
無線
無線
無線
無線

無線
無線
無線
無線
無線

無線
無線
無線
無線
無線

無線
無線
無線
無線
無線

12

8681

159

三〇 司令部 信	三六 2司令部 官	三九 西部部隊 指揮官	
(愛宕)	摩耶 戦隊	令 西部部隊 作外	
信	號	電	無
<p>今期作戦行動中長内一 號機(三號機)ハ大和(武蔵)</p>	<p>摩耶艦長ハ本日早準備出 来次第水偵一機ヲハラス 海峽ニ派遣所在艦艇上船路 標識設定ニ関シ要務打合 セテ実施セシムン</p>	<p>西方部隊校密着三二二五番 電 西方部隊電令作練七三 號 九三六部隊指揮官ハ前 西部部隊電令作練ハ七三 隊リ水偵六機ヲ速ニアラカ ニ派遣 作外由書ニ應ジ飛島 方面進出セシムン</p>	<p>ナリ進彩シラス</p>

mid

	電	言
A. CB 指揮官	無	28 司令官
11B 21B 外 各 9541 9559 5FCB 1FCB	無	28 (B)
電	無	候
<p>南西方面部隊に電令作第百七 九號</p> <p>一本職八師電令作第百六號 ニ依リ並島方面馬中全海 軍關係各部隊ヲ指揮シ海 上部隊及陸軍部隊ト緊密 ニ協力先ツ並島東方海面 ノ敵機動部隊ヲ殲滅シ引 續キ敵攻勢部隊ヲ殲滅セ</p>	<p>本日の當隊上空に警戒機配備 要領ヲ左ノ通定リ</p> <p>(1) 第四編制 四機 戒心 警戒 地切側(南側) 一三部隊</p>	<p>ニ搭載同艦ヨリ奮進作戰ニ 從事セリ</p> <p>三 兵内ハ同期間中整備員下 士官等七名ヲ武蔵ニ派遣スル</p>

13

トス

二、第六基地航空部隊、菲島運出以在菲島方面所任各航空部隊の緊密に共同集結し、左に依り作戦の兵力指揮官任務

(1) 師長官 (師) 指揮下兵

力を含む敵空母奇襲攻撃及菲島東方海面哨戒

(2) 師団長官 (師) 指揮下兵

力を含む対潜対空警戒、次敵攻勢部隊攻撃及哨戒偵察接觸

(3) 九五部隊 (九五) 師団

(師) 指揮下兵力を含む艦

隊、対潜及海上交通保護、日九五部隊 (師) 司令九五

電		電	
官		官	
員		員	
長		長	
1113		1113	
信		信	
〇三五作戦特別要員 候中ノ潜水艦電波台七ケレ	十月二十三日 二改分 藤波(豆波)一六島凡(島凡)	〇三五作戦特別要員 候中ノ潜水艦電波台七ケレ	基本針路五度 〇三五作戦特別要員 候中ノ潜水艦電波台七ケレ

又三	又言	又武	又高	又六	又八	又七	又五	又三	又二	又一
200員官	岸波	武藏	高州	朝霜	司令官	司令官	司令官	司令官	司令官	司令官
200員	司令官	司令官	司令官	司令官	司令官	司令官	司令官	司令官	司令官	司令官
員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員
直子	系	大	右	愛	我	愛	高	大	高	高
子	係	和	衛	宕	我	宕	州	和	州	州
明	係	和	衛	宕	我	宕	州	和	州	州
備	係	和	衛	宕	我	宕	州	和	州	州
分	係	和	衛	宕	我	宕	州	和	州	州
ノ	係	和	衛	宕	我	宕	州	和	州	州
海	係	和	衛	宕	我	宕	州	和	州	州
波	係	和	衛	宕	我	宕	州	和	州	州
及	係	和	衛	宕	我	宕	州	和	州	州
副	係	和	衛	宕	我	宕	州	和	州	州

17

三 司令官	三 司令官	三 司令官	三 司令官	三 司令官	三 司令官	三 司令官	三 司令官
艦	艦	艦	艦	艦	艦	艦	艦
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
別命 艦令第八号ニ依ル 対艦 対艦直彳 取止メ後人々ス	ヲ執ル 艦令第八号ニ依ル 対艦 対艦直彳 取止メ後人々ス	艦令第八号ニ依ル 対艦 対艦直彳 取止メ後人々ス	艦令第八号ニ依ル 対艦 対艦直彳 取止メ後人々ス	艦令第八号ニ依ル 対艦 対艦直彳 取止メ後人々ス	艦令第八号ニ依ル 対艦 対艦直彳 取止メ後人々ス	艦令第八号ニ依ル 対艦 対艦直彳 取止メ後人々ス	艦令第八号ニ依ル 対艦 対艦直彳 取止メ後人々ス

1 公同官 武藏 位 一三子頃秋霜乗艦中ノ摩耶 乗員ヲ其ノ艦ニ收容セシムル 事ヲ定 三子定	二 秋霜 公同官 電 一三子頃別長以下六名乗艦助合 ヲリ追及ス速力ニ四節	三 公同官 公同官 位 一三子頃二二度三分地二八度六分 東南迄ニ移テ移乗取計ヲ三ノ 定	四 公同官 枕艦 候 一三子頃令作舟六號 日本日ノ航行要領ヲ左ノ通定 一三子頃 一三子頃直ノ第六配備一直 三時間ノ第一組ノ三艘一 三子頃第二組ノ二艘一 一三子頃ヨリノ任務終了セバ サルセニ匯出ス曰右派出 候ヲ第一偵察隊トス
--	---	---	---

乗員ヲ其ノ艦ニ收容
 武藏ノ乗員
 三子頃

三三		三六	
倉橋		長門	
KBB KBB 特		公員 公員 隊	
ク		ク	候
<p>日采五(長大戦速三三郎)「ウ ルカン」はニアリ</p>	<p>① 右收容時、警戒等左ノ通 定ム</p> <p>② ①ハ、常泊岸波(秋霜)ハ 大和(武蔵)ニ横付ス。20ハ 公周辺ヲ警戒ス</p> <p>③ ②(第一部隊)ハ、公前方 (前方)ヲ捜査行動</p>	<p>一、午後時刻、右令ノ體ハ、可 令、評及愛宕ノ乗員(一隊) 耶乘員(一隊)ヲ大和(武蔵)疾 容ス</p>	<p>ニ收容ム カサ、四方云 スギ、六七四</p>

五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三
公員官	公員官	公員官	公員官	公員官	公員官	公員官
		秋霜	秋霜	秋霜	256 妙高	船隊
大和夕チニ三ニ依ル收容作業 中長内ノ檢査行動ニトニ 改メ	公標同特ノ檢査成泉領 一警戒介出基並リ針路ヨリ右 廻リ如前毎三秒間方概不 三打)早霜波波波百鼎 能代沖波八順 三連ノ士印聴音探偵	一五四ヨリ收容メヲ行ノ 武蔵ノSHニ上位セヨ	留日特ノ針路ヲ度	海軍省ニ此処外ニ並利根 移乗余補アル場合ニ受容 水雷長ヲ75日今ノ間(打撃 水雷長)トシテ各令ヲ支ナシ 業同船		

	三八
	八〇〇〇〇〇
	航
	り
<p> 一 三三〇日以後に飛行機使用に 使用に左の通り 二 一組別三馬力四二二組別三 三 組別代二矢別二四組別 三 四 七五馬力対潜隊 待機隊三偵察隊 三 各任務隊共八隊三待機 </p>	<p> 一 飛行機隊指揮官(水陸隊指揮 官)馬海隊隊長 二 隊出担任三矢別各三馬海 能代各一隊 三 飛行機隊指揮官(水陸隊指揮 官)馬海隊隊長 四 隊出担任三矢別各三馬海 能代各一隊 </p>
21	

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
司令官	艦長	武蔵	武蔵	武蔵	武蔵	武蔵	武蔵	武蔵	武蔵
一部隊	一部隊	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
速力十分節トモ	速力十分節トモ	我軍獨取飛回艦ヲナス	我軍獨取飛回艦ヲナス	九度右齊回頭	九度右齊回頭	方魚雷艇十	方魚雷艇十	三度方向三右齊回頭	三度方向三右齊回頭
妙高右鰐后部被機室三魚雷一本命中也	大和ニ機庫墜								
妙高魚雷一本命中									

三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇
リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ
長門	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ
リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ
我軍六機ナシ	我軍十八機トモ	我軍十五機トモ	我軍十二機トモ	一度方同一見ユ	一度方十八機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ	一度方二十機トモ
第一機速					敵機速射停止															
3/1	18kt	24kt	24kt	18kt																

五三	〃	五〇	五二	五〇	〃	五九	五五	五三	五二	五八
指揮官	長門	〃	〃	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊
且是外無	武藏	武藏	武藏	武藏	武藏	武藏	武藏	武藏	武藏	武藏
中継サレ度	我々ノ艦ヲ外使用不可然	之ヲ艦隊ニ任ズベシ	清霜ハ武藏艦長ノ指揮ヲ受テ	武藏被雷左約五度 傾斜自力航行困難長 被爆ニ依リ各種速力主節	無	本艦出得止速力二十節	急度ニ左方回頭	我々獨取飛回遊ヲ久	我々針路二ノ度	我々獨面飛回遊ヲ久
艦電令作第百九號										
33						244				

五七	リ	リ	リ	リ	リ	リ
各員長	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊	艦隊
リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ
<p>第一部隊ハ概テ逆航路ヲトリ タブラス海峡ニ向ヘ 敵ノ警戒状況ニ鑑ミ暫ク友 隊ノ攻撃成果ヲ待ツ多一時期 方ニ避退投宜行動ス</p>	<p>方ニ度ニ左ニ有回頭 副砲長輕傷電信員半數戰死 他若干ノ戦死者アルモト認め 他艦タル影射自ラノ位置ヲ使 用不能出シ得速力ヲ示部</p>					<p>自力又ハ曳航ヲ遠巨勢移動 不能ナル場合ニ特附近島嶼道 當在深所ニ曳航艦首ヲノシ 揚物ハ應急対策ヲ講ズル事ヲ</p>
					<p>大和ニ度方同ニノ發見 同在下武蔵襲撃書ニ武 蔵発砲之ヲ存退</p>	

34